

- 問1 1840年に始まったアヘン戦争で、大国であった清がイギリスに敗北したという情報を得た江戸幕府は、従来の対外政策を変更しました。このとき幕府が新たに打ち出した「天保の薪水給与令」の内容として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 来航した外国船に対し、燃料となる薪や飲料水などを与えた上で、速やかに退去させるように命じた。
 2. 日本近海に現れた外国船を、理由を問わず砲撃して追い払うように命じた。
 3. 特定の港に限定せず、全国の主要な港で外国船との自由な貿易を許可するように命じた。
 4. 外国の軍人を幕府の顧問として雇い、西洋式の軍事訓練を全国の藩に義務づけた。
- 問2 1853年にペリーが来航する以前の東アジア情勢において、イギリスが清を破り、当時の江戸幕府が「異国船打払令」を改めて「天保の薪水給与令」を出すなど、外交方針を転換する大きなきっかけとなった戦争は何か。 (2024年 佐賀公立入試 類似)
1. アヘン戦争
 2. 清仏戦争
 3. 日清戦争
 4. クリミア戦争
- 問3 イギリスで産業革命が始まった背景には、インドから輸入された安価で質の高い綿織物が人気となり、それに対抗して自国で効率よく生産する必要が生じたという事情がありました。この課題を解決するために導入された生産体制の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
1. 蒸気機関を動力とする機械を導入し、大規模な工場で製品を大量生産する仕組み
 2. 職人が一つの場所に集まり、手作業による分業で製品を仕上げるマニュアルファクトリアの仕組み
 3. 政府が輸入品を完全に禁止し、伝統的な手織り機による小規模な生産を守る仕組み
 4. 植民地から大量の労働者を呼び寄せ、人海戦術によって手作業の生産量を増やす仕組み
- 問4 幕末に生糸が海外へ大量に輸出されたことは、当時の日本国内の産業にどのような影響を与えましたか。その背景を含めた説明として最も適切なものを選んでください。 (2014年 沖縄公立入試 類似)
1. 輸出が優先されたことで国内の生糸が不足し、価格が高騰したため、国内の絹織物業が圧迫された。
 2. 海外から安価な生糸が大量に流入したため、国内の養蚕業が衰退し、米の生産への転換が進んだ。
 3. 生糸の輸出で得た利益が絹織物業に還元されたため、最新の機械が導入されて生産効率が飛躍的に向上した。
 4. 生糸に代わって茶の輸出が急増したため、絹織物業に代わって製茶業が国内最大の産業となった。
- 問5 アヘン戦争に敗れた清が1842年にイギリスと結んだ講和条約において、イギリスに譲り渡した（割譲した）地域はどこですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 香港
 2. 広州
 3. 台湾
 4. マカオ
- 問6 江戸幕府がアメリカと結んだ日米和親条約の内容に関する説明として、当時の外交状況を踏まえた正しい記述はどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. アメリカ船に対して燃料や食料を供給するために、下田と函館の2港を開港した
 2. 貿易を本格的に開始するために、横浜や神戸など5つの港を開港した
 3. アメリカ側に領事裁判権を認め、日本側に修正の権利がない不平等な関税制度を受け入れた
 4. 長崎の出島のみで行っていた交渉を中止し、江戸に近い浦賀を唯一の開港場とした
- 問7 ペリーが浦賀に来航してから、大老の井伊直弼が日米修好通商条約を締結するまでの間の時期に行われた出来事として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 日米和親条約を締結し、下田と箱館の2港を開港した。
 2. 外国船を打ち払うことを命じた異国船打払令を発令した。
 3. 下関海峡を通過する外国船を砲撃し、攘夷を実行した。
 4. アメリカ領事のハリスが下田に着任し、貿易の開始を求めた。
- 問8 1857年にインドで発生した、イギリスの植民地支配に対する大規模な抵抗運動について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 京都公立入試 類似)
1. イギリスに雇われていたインド人兵士であるシバーヒーの蜂起から始まった。
 2. ロシアで労働者が立ち上がり、皇帝による専制政治を終わらせるきっかけとなった。
 3. フランスで市民が自由と平等を求めて、封建的な特権の廃止を宣言した。
 4. イギリスで王の権限を制限し、議会の同意なしに課税できないことを定めた。
- 問9 アメリカ東インド艦隊司令官ペリーが浦賀に来航し、大統領の国書を提出して開国を要求したことをきっかけに、日本は長い鎖国体制を終えることとなりました。その後に結ばれた日米修好通商条約が「不平等条約」と呼ばれる大きな理由の一つである「関税自主権の欠如」について、その仕組みを説明したものとして適切なものを選びなさい。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. 自国の判断で関税率を決定できないため、外国産の安価な綿製品などが流入し、国内の生産者に打撃を与えた。
 2. 領事裁判権を認めたことにより、外国人が日本で犯罪を犯しても日本側が関税を徴収して罰することができなくなった。
 3. 幕府が貿易を独占する権利を失ったため、諸藩が自由に外国と関税を交渉できるようになり国内経済が混乱した。
 4. アメリカ側の要求により、日本からの輸出品に対してのみ高い関税をかけることが義務付けられた。
- 問10 大老の井伊直弼が「安政の大獄」と呼ばれる大規模な処罰を行った背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を結んだことなどへの反対勢力を抑え込むため
 2. 大政奉還を実現するために、江戸幕府の体制に反対する有力な諸藩を弱体化させるため
 3. 天保の飢饉から立ち直るため、農民の反乱や幕政批判を厳しく取り締まるため
 4. 攘夷を実行しようとする長州藩を討伐し、幕府の軍事的な優位性を証明するため
- 問11 1858年、江戸幕府がアメリカの総領事ハリスとの間で結んだ条約によって、神奈川（横浜）や長崎などの港が開かれ、本格的な貿易が開始されました。この条約の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
1. 日米和親条約
 2. 日米修好通商条約
 3. 日清修好条規
 4. 下関条約
- 問12 幕末の長州藩に関連する出来事について述べた文として、正しいものを一つ選びなさい。 (2019年 和歌山公立入試 類似)
1. 坂本龍馬らの仲介によって、対立していた薩摩藩と薩長同盟を結んだ
 2. 井伊直弼が主導した安政の大獄によって、藩主が処刑された
 3. 戊辰戦争の際には、幕府側の中心として会津藩などと奥羽越列藩同盟を結んだ
 4. ペリーの来航後、すぐに開国を主張してイギリスとの間に日英通商破壊条約を結んだ

答え合わせ・解説

問1	答え 1 来航した外国船に対し、燃料となる薪や飲料水などを与えた上で、速やかに退去させるように命じた。	江戸幕府は1825年に「異国船打払令」を出し、日本に近づく外国船を無差別に攻撃していましたが、アヘン戦争での清の敗北を知り、欧米列強と武力衝突に発展することを恐れるようになりました。そこで、1842年に方針を転換し、人道的な支援（薪水や食料の提供）を行って穏便に帰ってもらうことを目指しました。
問2	答え 1 アヘン戦争	1840年に勃発したアヘン戦争で、大国であった清がイギリスに敗北したというニュースは、オランダ風説書などを通じて江戸幕府に大きな衝撃を与えました。幕府は西洋列強の軍事力を恐れ、これまでの強硬な異国船打払令を緩和し、日本に漂着した外国船に燃料や水を与える天保の薪水給与令を出し、開国への圧力に備えることとなりました。
問3	答え 1 蒸気機関を動力とする機械を導入し、大規模な工場では製品を大量生産する仕組み	イギリスではインド産の綿織物に対抗するため、紡績機や織機の改良が進められました。蒸気機関を動力としてこれらの機械を動かすことで、従来の手作業や水力に頼った生産をはるかに上回る効率的な大量生産体制が確立されました。
問4	答え 1 輸出が優先されたことで国内の生糸が不足し、価格が高騰したため、国内の絹織物業が圧迫された。	海外での需要が高まり、生糸が大量に輸出された結果、日本国内の市場に出回る生糸が不足しました。これにより生糸の価格が跳ね上がり、原材料を確保できなくなった国内の絹織物業者が苦境に立たされるという経済的な混乱が生じました。
問5	答え 1 香港	アヘン戦争の講和条約である南京条約により、清はイギリスに対して香港を割譲しました。また、この条約では上海や広州など5つの港を開港することも決められ、イギリスのアジア進出の重要な拠点となりました。台湾が割譲されたのは、のちの日清戦争後の下関条約（馬関条約）によるものです。
問6	答え 1 アメリカ船に対して燃料や食料を供給するために、下田と函館の2港を開港した	日米和親条約は、遭難した乗組員の救護や、捕鯨船などへの補給を主眼に置いた条約です。そのため、開港された場所は伊豆の下田と北海道の函館の2港に限定されており、この段階ではまだ商社による自由な貿易は認められていませんでした。貿易の開始や、領事裁判権（治外法権）の付与については、4年後の1858年に結ばれた日米修好通商条約の内容です。
問7	答え 1 日米和親条約を締結し、下田と箱館の2港を開港した。	幕末の外交史における時系列の理解を問う問題です。1853年のペリー来航と1858年の日米修好通商条約の間には、1854年の日米和親条約の締結があります。この条約によって日本は開国しましたが、この段階ではまだ貿易は行われていません。ハリスの下田着任は日米和親条約締結後の1856年であり、その後の交渉が日米修好通商条約へとつながります。異国船打払令はペリー来航より前の時代、下関での攘夷決行は条約締結より後の出来事です。
問8	答え 1 イギリスに雇われていたインド人兵士であるシパーヒーの蜂起から始まった。	19世紀半ば、イギリスは東インド会社を通じてインドの植民地化を強めていました。1857年、東インド会社に雇われていたインド人兵士（シパーヒー）たちが、宗教上の理由や待遇への不満から反乱を起こすと、それは農民や旧王族を巻き込んだ大規模な反英抗争へと発展しました。これがインド大反乱であり、鎮圧後にイギリスは東インド会社を解散させ、インドを直接統治下に置くこととなりました。
問9	答え 1 自国の判断で関税率を決定できないため、外国産の安価な綿製品などが流入し、国内の生産者に打撃を与えた。	日米修好通商条約で関税自主権が失われた結果、日本は自国の産業を守るために必要な関税率を独自に設定できなくなりました。実際に、イギリスやアメリカから機械製の安い綿製品が大量に入ってきたことで、日本の伝統的な綿作や手織りによる綿布産業は深刻な打撃を受けることとなりました。これが明治以降、条約改正（関税自主権の回復）が国家の悲願となった背景です。
問10	答え 1 朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を結んだことなどへの反対勢力を抑え込むため	井伊直弼は、天皇の許可（勅許）がないままアメリカとの条約調印を断行しました。この独断専行や將軍継嗣問題に対して、徳川斉昭らの一橋派や尊王攘夷派の武士たちが激しく抗議したため、それらの反対派を弾圧して幕府の権威を強引に回復しようとしたのがこの事件の背景です。
問11	答え 2 日米修好通商条約	1858年に締結されたこの条約は、1854年の日米和親条約（下田・箱館の開港）から一歩進み、貿易を目的として横浜、長崎、新潟、兵庫などの開港を定めたものです。幕府は老老の井伊直弼が天皇の勅許を得ないまま調印を強行したため、のちの安政の大獄や桜田門外の変につながる政治的混乱を招きました。
問12	答え 1 坂本龍馬らの仲介によって、対立していた薩摩藩と薩長同盟を結んだ	長州藩は当初、京都での政局を巡って薩摩藩と対立していましたが、1866年に土佐藩出身の坂本龍馬や中岡慎太郎の仲介により、薩摩藩と軍事同盟である薩長同盟を締結しました。これが倒幕に向けた決定的な転換点となりました。安政の大獄で処刑されたのは藩主ではなく、松下村塾で多くの人材を育てた吉田松陰らです。